



こたけ

議会だより

第 250 号
令和 6 年 11 月 1 日
(2024 年)

■発行 小竹町議会
福岡県鞍手郡小竹町
TEL 0949-62-1967
FAX 0949-62-1240
■編集 議会広報編集委員会
■印刷 マツオ印刷株式会社



小竹町立小竹みらい小学校 通学路等建設



小竹町御徳の秋の風景

もくじ

- ◆主な議案 2
- ◆令和6年度補正予算 3
- ◆令和5年度決算 4
- ◆一般質問 6

9月定例会
(令和6年9月5日～令和6年9月20日 16日間)

年賀状などのあいさつ状を出すことは禁じられています。

今年も余すところ2ヶ月となりました。
議員は選挙区内に年賀状・寒中見舞などあいさつ状を出すことは、公職選挙法で禁止されています。

9月定例会の主な議案

可決

議案第44号

内容
小竹町立小学校の統合に伴い、学校の名称を改正する条例案。
名称 小竹町立小竹みらい小学校
位置 勝野3540番地

小竹町小学校及び中学校の設置に関する条例の一部を改正する条例の制定について

継続

発議第6号

総務産建常任委員会での意見
食料自給率を何%目標にするのかといった具体的な目標数値が必要では。
5月29日に食料・農業・農村基本法の改正法が成立したばかりで、现阶段で意見書を出すのは時期尚早では。

内容
新しくできる農業基本法でも自給率の向上を求める内容はなく、不足分は他国からの輸入によるものとしている。
自国の食料は自国での思いから意見書を提出するもの。

食料自給率向上を政府の法的義務とすることを求める意見書について

可決

議案第47号

内容
児童扶養手当の所得制限額が引き上げられ、所得が多かったため児童扶養手当の金額または一部が受給できなかった世帯への所得制限が緩和された。
また、第3子以降の児童扶養手当加算額が第2子と同額に増額された。

小竹町ひとり親家庭等医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について



可決

議案第46号

内容
現行の被保険者証が12月2日に廃止されることに伴い、罰則規定を改正するもの。
※マイナンバーカードと連携していない人には資格確認書が町より送付される。

小竹町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について

9月定例会で議決した議案

議案第44号	小竹町小学校及び中学校の設置に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	議案第53号	福岡県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更に関する協議について	可決
議案第45号	小竹町認定こども園条例の一部を改正する条例の制定について	可決	認定第1~6号	小竹町(一般・国民健康保険特別・後期高齢者医療特別・町立病院事業特別・水道事業特別・下水道事業特別)会計決算認定について	認定
議案第46号	小竹町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	可決	発議第6号	食料自給率向上を政府の法的義務とすることを求める意見書について	審査 継続
議案第47号	小竹町ひとり親家庭等医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	同意第1号	小竹町教育委員会委員の任命について	同意
議案第48~51号	小竹町(一般・国民健康保険特別・後期高齢者医療特別・水道事業特別)会計補正予算について	可決	諮問第2号	人権擁護委員候補者の推薦について	適任
議案第52号	損害賠償の額の決定及び和解について	可決			

補正予算の主な質疑

〈令和6年度一般会計補正予算について〉

不登校児童生徒等の早期発見・早期支援事業業務委託料 300万円増額

Q【議員】事業内容と増額理由は。

A【教育課長】事業内容は教育支援センター及び教育相談アドバイザーによる家庭訪問等の支援についての指導助言を福岡県立大学に委託するもの。

県から500万円委託金が入り、福岡県立大学に委託料として300万円、教員の人件費2名分として200万円。

蛇牟田川排水機場改修事業債 480万円増額

Q【議員】改修の内容は。

A【建設課長】蛇牟田川排水機場のエンジンの力をポンプに伝達する装置(減速機)の経年劣化による消耗品等の交換。

マイナンバーカード特急発行用機器 借上料 3万1000円増額

Q【議員】マイナンバーカード特急発行用機器借上料の特急の意味は。

A【税務住民課長】マイナンバーカードの取得にあたり申請から1カ月程度の期間が必要だったが、特急発行システムが開発され、1週

間の賃借料で可能になったため、特急という標記になっている。

七福地区排水路改修工事請負費 130万円増額

Q【議員】場所と内容は。

A【農政環境課長】工事場所は七福区14組の旧七福ストア付近から七福交差点の道路を挟んだ向かい側の住宅地。内容は老朽化した排水路の補修工事。

消防費修繕料 250万円増額

Q【議員】増額内容は。

A【総務課長】落雷により故障し、応急対応している防災無線の修繕。

町民体育館耐震診断業務委託料 1030万円増額

Q【議員】耐震診断を行う理由は。

A【教育課長】町民体育館は新耐震基準前の構造物で、南海トラフ等の地震で大きな被害を受ける可能性があるため、耐震診断を行い耐震補強計画の検討を行う。

環境保全型農業直接支援対策 交付金16万6000円増額

Q【議員】交付先と内容は。

A【農政環境課長】有機栽培米農家と堆肥施用農家の2件に交付している。補正内容は堆肥使用農家の面積増に伴うもの。

一般会計 ……………4071万円

特別会計

国民健康保険特別会計 55万円

後期高齢者医療特別会計 82万円

水道事業特別会計

収益的支出 610万円

債務負担行為 1億9840万円



決算の主な質疑

町民税 不納欠損額 356万円
 収入未済額 1891万円
 固定資産税 不納欠損額 532万円
 収入未済額 2595万円

Q【議員】町民税・固定資産税の収入は各々約93%だが、不納欠損額、収入未済額は何人分か。

A【税務住民課長】町民税の不納欠損81名、収入未済328名。

固定資産の不納欠損19名、収入未済294名。

Q【議員】回収見込みは。

A【税務住民課長】納税者へは、督促等を出し、状況調査、納税相談を行っていく。

不納欠損額とは…

未納となっているお金のうち、時効消滅や徴収の見通しが立たないなどの理由で徴収をあきらめること。

収入未済額とは…

年度内中に納付されるべきお金のうち、徴収できなかったお金。

収入未済金は翌年度に繰り越され、引き続き徴収に努めることとなる。

住宅使用料 収入未済額 6587万円
 住宅新築資金等貸付金元利収入 収入未済額 93991万円

Q【議員】滞納者への回収方法は。

A【管財課長】住宅使用料の収納対策は、3カ月滞納で督促、その後、催告、電話連絡の後、収納がない場合は訴訟手続きの移行通知等を送る形を基本としている。

昨年度現年分の徴収率は0.1%上昇した。

A【総務課長】今年度の住宅新築資金貸付元利収入は96万1036円で、新築資金、住宅地の取得に関する分、3名から返済があった。

監査委員の指摘により戸別訪問の努力した結果である。

Q【議員】回収見込みは。

A【管財課長】滞納徴収は、令和5年度滞納徴収分約180万円、令和4年度滞納徴収分約150万円。徴収努力を果たした上で不納欠損処理の分析をする。

A【総務課長】未払いは私債権扱いとなり、税金のような強制的な取り扱いができないので、債権放棄処理もありえる。

最終的に議会審議案件と認識している。

納付者との公平性を踏まえ、粘り強く納付勧奨をしていく。

国庫支出金・住宅費補助金 8712万円減額

Q【議員】七福団地建設に当たり、当初交付予定だった補助金が8712万円減額された理由は。

A【管財課長】減額金額の総計は8712万4000円。

1項目の減額事由は、予算額より契約額の方が下がるので945万円の減額。

2項目は、階層、耐火構造、構造上、面積上など国が標準床面積を定めているが、新規建設七福団地の実態と国の定める面積要件が乖離していた為、5096万6000円の減額。

3項目は、ネットゼロエネルギーハウス、例えば、太陽光パネルを設置し七福団地の光熱費を賄うなどエネルギー収支をゼロに近づける取り組みに対応していない為、2670万8000円の減額。

Q【議員】交付金減額約8700万円とは、町民が7000人と仮定し、一人当たり1万2500円の負債を負ったことと同様である。

執行部は由々しき事態を招いた原因について、再度、詳細な説明責任があると考ええる。

A【管財課長】交付金が減額となった最大の原因は、交付要件を具

に事前確認できなかったことである。県より減額が示唆されたのが、交付金申請事務作業中であり、現場においても建設作業を中止にできる時期を逸していた。

県との事前調整が十二分にできていれば回避もあったのではないかと認識している。

今後、同じ轍は踏まぬよう細心の注意を払って交付金事務に取り組む。

A【町長】事業着手前の準備行為が不十分であったと分析をしている。今後は補助金、交付金等を申請する際において、交付元との十分な協議をするよう指導をしていく。

Q【議員】人為的なミスで、一般会計約8700万円が減額となった事への責任はどう取ると考えているか。

A【町長】2項目と3項目については、交付要件を施工した場合、支払う金額が増えていた可能性もある。

太陽光発電パネルを設置しなかったために交付金は減額となったが、太陽光発電パネルを設置していた場合、工事金額の増額も考えられる。マイナス8700万円が全額手続上のミスによって発生したわけではないことを認識してほしい。

私の責任については、今後考えたい。



【議員】交付金減額については、3月議会、6月議会において、管財課長から県との調整不足により発生した案件だったと謝罪があった。

町長と担当課の認識の違いがあると思われるので再度尋ねる。

【町長】ネットゼロエネルギーハウスに取り組んだ場合において、仮定ではあるが、減額となった金額より、工事代金が高くなることも想定されるために8712万4000円全額が町の損失であるとの認識はない。

【議員】交付要件を実施した場合の工事金額と、交付要件を実施せず補助金減額となった今この工事金額を比べる必要があるので、金額を提示して欲しい。

【管財課長】町長は一例として、太陽光発電パネル設置となれば交付金減額はないが、その反面、設置による工事代金増額の可能性もあり、最終的な収支は不明であったと、答弁したものと推察する。

実際に設置した場合の金額は回答不可能。

【議員】太陽光発電パネルを新しい町営住宅や庁舎に、設置できないのはなぜか。

【管財課長】七福団地について、太陽光発電パネル設置の取り組みに関して、施工業者への要求水準書に明記していなかった。

チエックする機能が、非常に脆弱であったという点で反省している。

庁舎については太陽光発電パネルの計画は建設時点ではなかったと聞いている。

【議員】環境対策問題に対する町長の認識が、交付金減額問題とも関連していると思われるがどうか。

【町長】自然エネルギー、太陽光発電について、財政負担軽減という視点から自然エネルギーの導入、CO2削減に向けて取り組む。

環境問題対策については様々な方法があり、災害時対策も含め自然エネルギーの活用について前向きに取り組んでいきたい。

【管財課長】交付金要件としてあげられた案件は、地球環境に配慮した取り組みを国が推奨しているということの裏付けであった。
今後この傾向は顕著になると思われる。

経常収支比率90.7%

経常収支比率とは…

人件費など経常的に支出するお金が税収や普通交付税など経常的な収入に占める割合。

100%に近づくとも経常的な支出が経常的な収入のほとんどを占めていることになり、災害時など突発的な支出に対応する財政的余裕がないことを意味する。

【議員】監査委員から経常収支比率、90.7%となり、財政上非常に硬直した状況であると指摘されている。何が原因なのか。

【総務課長】経常収支比率は70%を超えると財政構造の弾力性が低く、財源に余裕のない町と判断される。

小竹町は平成25年度から平成30年度にかけて、経常収支比率約97%で推移していたが、90.7%という数字まで回復してきた。

監査委員からは町財政の将来を見据えた指摘がなされ、今後、町として公債費増加に対し、財政運営をどの様に編成していくかが正念場であると認識している。

【町長】財政状況については、監査委員指摘の点は留意し、財政運営をしていかなければならないと認識して

いる。

第7次行政改革が令和6年度で終わり、その成果が多少現れ、今に至っていると思われる。

第8次行政改革に向け新たな目標を設置し、「町の幸せ度」を高めていくために取り組んでいく。

【議員】経常収支比率90.7%は、福岡県60市町村の中で何番目か。

【総務課長】経常収支比率の県内順位について把握はできていない。90.7%という数字は、県内において平均値より多少高い数字だと認識している。

数値が低ければ低い方がいいわけ、財政が硬直化しないように健全化に努める。

監査委員から指摘されたその他の数値では将来負担比率が少し高い傾向にある。

将来的に財政不安が懸念される中、町長主導のもと、メリハリをつけた予算の編成をおこない、財政運営に取り組む。

【議員】財政を立て直す、このことは、第7次行政改革の現状、到達点を見据えて、今後やってほしい。



そこが知りたい 一般質問

●消滅可能性都市への見解と今後の展望

一滴 浩子 議員

問 2024年4月、人口戦略会議が744の自治体の4割が、2050年までに20代から30代の女性が半減し、出生数低下に伴い持続可能性が困難と発表。

最終的には消滅する可能性がある自治体の中に「小竹町」の名前があった。

町民にとって衝撃的な発表であり、町の未来を考えるに当たっても大きな壁を感じる発表であった。

子育て世代への施策として、小竹町は医療費の助成、給食費無償化などを打ち出しているが、近隣市町村も行っている標準装備のアピールポイント。

似たような施策で子育て世代に訴えたとして、居住

地選択の際、小竹町で子育てをしたかと思えるほどの大きな魅力とは思えない。

そこで例えば、小学校の修学旅行行き先を日本の首都、東京見学と夢の国と称される東京ディズニーランドとし、しかも無償で行う。

中学校の修学旅行行き先は、歴史を学ぶ京都と大阪にあるユニバーサルスタジオ、これも無償で行う。

一見荒唐無稽な提案かと思うが、子どもたちにカルチャーショックを与え、見聞を広め、インパクトある企画は児童数が少ない小竹町だから実行できる、夢ある施策。

経済格差とともに、昨今、体験格差は子どもた

ちの発達に大きな影響があると考えられている。

「もう消滅都市とは言わせない」という大胆な発想が、今、一番行政に求められていると考えるが、町長の見解は。

答 「消滅可能性都市」このネーミングは非常に衝撃的であり、今回の発表も重く受け止めている。

国全体で若年人口が減少傾向にある中、地理的要件など差はあるもののそれぞれが成果を求め取り組みを進めている。

人口減少問題は、出生率の向上にも目を向ける必要があると考えており、小竹町の総合戦略は、15歳から49歳までの女性

の出生率で見ると計特殊出生率を重要な指標としている。

消滅可能性都市とは、町で幸せに継続して暮らし続けることが困難になると解釈する。

ゆえに、幸せに暮らし続けることができる町を目指し、子育て施策では地域の支援体制を強化、出産しやすい仕組みをつくり、きめ細やかな施策を行う。

次期総合戦略の改定を前に、総合戦略に掲げる各事業がニーズに合ったものなのか、効果的な事業はないか分析、柔軟な発想、健全な財政運営のもと、町民が幸せを実感できるまちづくりを進めていきたい。

意見 子どもたちの記憶に残る施策は、郷土愛と豊かな人間性を育む。地域創生につながる大胆な取り方を、町長と行政に期待している。





そこが知りたい 一般質問

●ハラスメント根絶について ●南海トラフ地震等について

良永 陽臣 議員

問 福岡県議会主催で議員関係ハラスメント源絶のための議員研修が行われ、小竹町からは廣瀬・和田伸一・一滴・良永の4人の議員が参加した。

ハラスメントとは相手に不快感を与え「いじめや嫌がらせ」によつて、被害者の就業環境を悪化させる行為全般の事で、決して軽視できる問題ではない。

小竹町はハラスメント根絶のための状況確認及び対策を行っているか。

答 ハラスメントは役場内においても非常に憂慮すべきことで、ハラスメントの無い職場環境づくりを進めるため、広報、

啓発に努めている。相談体制の強化として、コンプライアンス担当の職員を配置し、専門的な知見に基づき、カスタマーハラスメントをはじめとした相談に乗るなど対応をしている。

職員の過度な負担の軽減を図るための組織的な対策を定め取り組んでいる。



問 南海トラフ地震に対する小竹町の防災対応及び防災対策について。

一 小竹町の防災対応とその具体的な内容は。

二 防災訓練の実施及びドローン、災害監視カメラの活用を検討しているのか。

三 ホームページに南海トラフ地震に関する防災対応及び防災対策を載せるべきでは。

四 専門の防災職員の育成には長時間を要するため、防災、危機管理の専門家の雇用を検討すべきでは。

答 小竹町は南海トラフ地震臨時情報に関する指定基準である震度6弱以上の地域に入っていないが、地震に対する防災対応及び防災対策は重要なことであると捉えている。

一の防災対応については地域防災計画に基づき行う。

二の防災訓練の実施並びにドローン及び災害監視カメラの活用については、自主防災組織や老人会など、各種団体での訓練を推進する取り組みを重視している。

小竹町は2名の防災士と計画しており、実際に各自治会で講演を行い、訓練にも参加している。

この動きを全町に広げていきたいと考えている。

小竹町は3台のドローンを所有し、5名が技能認定書を保有している。災害監視カメラの設置については検討すべき課題だと捉えている。

三の南海トラフ地震の情報提供については防災対策をとるべき地域に入っていないので、特化した情報掲載はしていない。

四の防災、危機管理の専門家の雇用の検討については職員を積極的に研修に参加させ、災害発生時の対応能力の向上に向けて、多角的に検討をする。





そこが知りたい 一般質問

●軟骨伝導イヤホンを相談窓口を設置しては

渡辺 由美子 議員

問 耳周辺の軟骨の振動を通じて音が聞こえる「軟骨伝導」を応用したイヤホンを相談窓口を設置する自治体や金融機関・病院などは、125団体に上る。

イヤホンを耳の穴に入れなくても明瞭に音が聞こえ、しかも音漏れが少ないことから、難聴者との意思疎通に役立つという。

人が音を聞く経路はこれまで、空気を通じて聞こえる「気導」と骨を振動させて聞く「骨伝導」しか知られていなかったが、聴覚医学が専門である奈良県立医科大学の細井学長が2004年、「第3の聴覚経路」である「軟骨伝導」を世界で初めて発見された。

通常のイヤホンのように耳をふさがないため、周囲の音も聞こえ側頭部への圧迫感もないと言われている。

小竹町役場では窓口で難聴者の方には「大きな声で話すか、筆談」をされているが、軟骨伝導イヤホンを使えば、付属の集音器が職員の声を拾い、イヤホンを通じて相談者にはつきり届き、お互いの意思疎通に役立ち、また、イヤホン部分には穴や凹凸がないため消毒しやすい。清潔、音声明瞭、音漏れなしの軟骨伝導イヤホンを相談窓口を設置してはどうか。

町長の見解は。

答 人との交流やコミュニケーションが取りづらい状況下にあることが、社会参加の阻害要因になりうることは十分に承知しているし、役場の窓口においても、聴覚の状況によらず、情報を正確に伝えるよう配慮することは、行政として当然の責務であると考えている。

また、現在、型式等の基準を設けている高齢者向けの補聴器購入助成についても、助成金額の上限設定は必要となるものの、型式等を問わないこととするよう、所管課において、見直しを検討しているところ。

軟骨伝導イヤホンの窓口設置に関しては、窓口

お見えになる方の聞こえづらさの要因や状況、衛生上の観点等を考慮するとともに、全国で既に多くの自治体等で導入されていること、県内においても八女市や志免町などで導入されていることなどを鑑み、その設置の効果等について十分に調査し、補装具の取り扱いや購入費用助成事業の見直しを行う中で、役場窓口設置の是非について、検討してまいりたい。

意見 是非会話のほずむ環境を整えていただきたいと思う。





そこが知りたい 一般質問

●防災について ●環境対策について

和田 伸一 議員

問 正月の能登半島地震被災地では住民同士の声掛けにより、井戸が自発的に解放され共有された地域が何箇所もあり、高齢者の介護のために新たに井戸を掘った人もいた。

答 計画が整備されていけばスムーズに活用された可能性があり、災害時協力井戸の事前登録制度を早急に検討しては。

答 防災時の協力井戸は大規模な災害時に地域の暮らしを支える重要な水利の一つになると期待される。制度の導入については課題もあるので、今後検討が必要だと考えている。

問 災害時、自治体からのトイレ支援や水洗トイレが復旧するまで、自助で3日から7日かかると言われて

答 その間トイレの回数を減らすために食事を控えて体調不良になる災害関連死、消臭対策をしていない汚物袋からの悪臭など、様々な悪影響がある。

答 避難所における仮設トイレや簡易トイレ等の備蓄は、最大規模の災害にも対応できる備蓄体制を構築できるように努めていく。

問 地球温暖化は沸騰化と呼ばれるほど深刻になり、その影響で自然災害は激甚化している。

答 小竹町を指して「生まれ変わる」2021年6月24日小竹町ゼロカーボンシティを宣言され、小竹町地球温暖化対策実行計画を策定し、再生可能エネルギーの中でもバイオマス生物資源を活用することに向け取り組み始めていくと記載がある。バイオ燃料への小竹町のこれからの取り組みは。

答 小竹町地球温暖化対策の具体的な施策としては、省エネルギーの推進、再生可能エネルギー利用、廃棄物の発生抑制資源循環の推進

等々、基本方針を設定している。

意見 筑前町の道の駅には災害時にトイレに変身するトイレスツールやかまどベンチなどが設置されているので、参考にされ小竹町でも導入を検討されては。

また、誰もが簡単に取り組むことができる施策として、廃棄物の発生抑制、資源循環の推進は重要なことだと思っており、ごみの分別、再利用、生ごみのコンポスト化等、2030年度の温室効果ガス削減目標達成に向けて町民、事業者、行政がそれぞれの役割を認識し、連携して対策に取り組みむ必要があり、皆様のご協力をお願いしたい。



筑前町「みなみの里のトイレスツール



そこが知りたい 一般質問

●何時でも気軽にグラウンドゴルフができる方策は

廣瀬 正子 議員

問 グラウンドゴルフは昭和57年に考案されたスポーツである。

発祥の地は日本海に面した鳥取県泊村、現在の湯梨浜町と言われている。

本町団地ができた昭和55年頃はゲートボールの全盛期で、本町団地内の2カ所は、組対抗のゲートボールが毎日のように開催されていた。

あれから40年が過ぎ、本町団地にゲートボールチームがなくなり、好きな人は他の地区のチームに入つて、現在でも続けている。

そんな中、私は小竹町のサロン活動でグラウンドゴルフの楽しさを知り、今、桂川町にあるグラウンドゴ

ルフ場に家族や孫たちと定期的に楽しんでいる。

コースは丘やバンカー、屈折したコース等があったり、多彩である。

親子三代で競っているが、いつもいい勝負をしている。

令和5年10月には、ふれあいサロンが主催したグラウンドゴルフ大会に170人も集まった。

「小学校跡地にグラウンドゴルフ場を」という声は多数ある。

高齢者が増えている小竹町で、人数に関係なく、いつでもできる桂川町のようなグラウンドゴルフ場ができれば、1人でも高齢者が気軽に楽しく運動ができる憩いの場になると思う。

小竹町の財政状況を考えれば、場所とホールポストだけを常時設置すれば、道具は個人でそろえるのでお金はかからない。

ゲートボール全盛期にはほとんどの人が個人で道具を持っていた。

今でも公民館で全ての道具が無料で貸出していることは知っている。

そんな仰々しくなく、思い立ったらいつでも誰とでも個人でもできるグラウンドゴルフの特性を生かした設備を少ない予算で考えてみてはどうか。



答 グラウンドゴルフは、その競技の特徴として、年齢に関係なく、初心者の方でもすぐに取り組むことができる。

小竹町では、グラウンドゴルフの道具一式を購入し、いつでも貸し出せる仕組みを構築している。

小竹町総合運動公園の中には様々なスポーツができる施設や広場がある。

占用の使用を行う場合は、事前に使用申請が必要となる。

町民グラウンドや隣接する多目的広場で利用者がいない場合は、ウォーキング、ランニング、体を動かすなどされている方がたくさんいる。

令和7年3月に

小学校が閉校し、北小学校、西小学校のグラウンドは空きスペースとなる。

その利用について、例えば、早朝の涼しい時間帯に町民グラウンドなどと同様に、地域の方々が気軽に利用できるような検討している。

桂川町のグラウンドゴルフ場の整備費用は約3億円と聞いている。

今ある施設などを上手に活用するには、施設管理を行う上での課題の解決が必須。

道具の貸出し、関係機関等による技術指導、大会などの情報提供、認定コースでの体験活動など、ソフト面について様々なバックアップなど調査検討を進めたい。



そこが知りたい 一般質問

●車椅子生活者にも補助を ●マイナ保険証の問題点

宮野 一男 議員

問 小竹町は高齢者外出支援事業として75歳以上の在宅高齢者に対し、タクシー券の補助を行っている。

75歳以上でも車椅子生活者は、申請をしても介護タクシーが無いから利用できない問題がある。解決策はないのか。

答 小竹町が現在交付しているタクシー券の利用が困難な方は、介護保険や障がい福祉サービスの利用を案内できる可能性があります。そのため、小竹町福祉課の障がい福祉担当又は地域包括支援センターに御相談いただければと思います。

車椅子やストレッチャー対応が可能な福祉タクシーを運営している。

事業者とのタクシー券利用契約等については、今後検討の課題としたい。

問 政府は令和6年12月2日に、現行の健康保険証を廃止し、マイナンバーカードと健康保険証を一体化したマイナ保険証の導入を決定している。

マイナ保険証には問題がある。マイナンバーカードをつくるのも、マイナ保険証を発行するのは、登録するのも任意である。この制度を普及するために保険証を廃止することには無理があるとは思わないのか。

答 マイナンバーカードを取得されていない方や、マ

イナ保険証として登録されていない方については、当面の間、資格確認書を町が発行することになっている。

現行の保険証と同様に継続して利用できる形になる。

既に法律が改正されて12月2日から新規の保険証が発行されなくなるため、町としては被保険者に支障のないように努めていく。

問 小竹町でのマイナンバーカードの登録者数、取得者数、既にマイナンバーカードの保険証を利用して診察を受けている数は何人か。

答 マイナンバーカードの取得者数は令和6年8月末

で、5427人、約76.2%の取得率。保険証と一体化されている数は、令和6年6月末で国民健康保険の方が892人で約61.6%、後期高齢者医療が856人、約53.3%の方がマイナ保険証としてひもづけされている。

問 「マイナンバーカードを取得し、マイナ保険証を持つていない人」、「マイナンバーカードを取得していない人」、「前の保険証を持つていない人」には資格確認書を発行することになっているが、これは申請が必要なのか。

答 資格確認書の申請が必要な人は、マイナ保険証登録済みの方で、

資格確認書も持つておきたいという人は申請が必要となる。

マイナンバーカードを持っていない人や、マイナ保険証として登録されていない人は、申請は必要なく、町から資格確認書を送付する。

問 マイナ保険証で本当に個人情報を守れるのか。

答 マイナンバーカードについては、プライバシー性の高い個人情報や記録されたおらず、カードを落としてもカードから保険証や薬のデータが漏れることはない。

議会が同意した人事

教育委員会委員

深堀 朋子 氏(新任)

任期 令和6年11月2日から(4年間)

人権擁護委員候補者

早田 真由美 氏(再任)

任期 令和7年1月1日から(3年間)

議員関係ハラスメント根絶のための
議員研修に参加しました。

令和6年7月11日に福岡県議会主催で行われた「議員関係ハラスメント根絶のための議員研修」に参加し、議員間同士でのハラスメント問題や対処の仕方、法整備への課題などの講習を受けました。



編集後記

長年生きていると色々なことを経験する。

オイルショック時にトイレレットペーパーなど生活用品が店頭で買うことができなかつたので、実家の九州から送ってもらったことがあった。騒ぎが収まったころには買い占めたトイレレットペーパーが押し入れいっぱい溜まっていた。

平成の米騒動ではタイ米を、色々工夫しながら料理したことを思い出す。

この時初めて日本のコメの美味しさを実感した。

今年また令和の米騒動が起きてしまった。

子育て世代の両親は、食べ盛りの子どものため、コメを求めてスーパーを巡り、大変だと思う。

私が婚姻届を提出した時に、役場から「米の通帳」を貰ったことがある。

その後「米の通帳」を使うことが一度もない。

あれは何だったのだろうか。(議会広報編集委員会)

副委員長 廣瀬正子

議会を傍聴してみませんか

傍聴の手続きは、受付票に住所、氏名、年齢を記入するだけです。ご不明な点は議会事務局まで、お気軽にお問い合わせください。【電話 0949 - 62 - 1967】

小竹町議会YouTubeチャンネルで 議会中継・動画を公開中!

検索 小竹町議会 YouTube



次回の定例会は、
12月5日(木)に開会予定です。

※事情により変更される場合もありますのでご了承ください。

あなたの『自慢の一枚』を募集します!

コメントを添えて議会事務局へ持参
または下記のアドレスへ送ってください。
応募作品の中から毎回、厳選の一枚を掲載させていただきます。ご応募お待ちしております。

応募先 gikai@town.kotake.lg.jp

自慢の一枚



〔写真提供者 議会事務局〕
議長室からのながめ。この日は青く澄んだ気持ちいい空でした。小竹町は山から遠いので、空が大きく見えて好きです。

